



歯医者で嫌な思いをすると人は自分を守るために 心に鎧を着てしまうことがあります。

そんな人は予約その他もスムーズに行かず、診療時間に遅れ、診療中も固い表情をして、話をしても、こちらを見ようとせず、或いは疑いの目で見、こちらの言う事を聴こうとしない為、

現状の正しい理解が出来ず、自然歯科の基本的な方針である二人三脚の診療が成り立たず満足行く結果を得られない場合があります。その結果、歯医者で嫌いな人は自分を守るために

益々強固な鎧を着て「歯医者ぎらいの道」を突き進み、最終的には歯医者にかからなくて済む様に歯を失う事に成ります。その流れを変える為には以下をご覧ください



想いの現実化

作家の向田邦子さん、いつも飛行機が落ちる事を心配していたら、実際に飛行機が落ちて亡くなってしまいました。

頭でこうあって欲しいと言う事より、潜在意識の中で強く思う事、恐れる事が優先的に現実化してしまいます。

➤ 引き寄せの法則という 宇宙の法則があります

➤ たらい = 宇宙 という考えでして大きなたらいに水を入れます。中心に自分が立っているとおもってください押すと 自分に戻る。手前に引くと にげる。 という法則です。これは 信じるか信じないか 理解している していないに関係なく常に働いています。つまり、与えたものが (まわりまわって) 戻ってくる強く嫌うと 自分に戻ってくる という法則なのです

➤ 例) 太りたくない 太る (肥満を嫌っているので 肥満を引きよせてしまう) 貧乏やだ ~ 貧乏になる。あの人嫌い なせか その人とえんがあるようになる。病気やだ 病気をひきつける。私なんてダメ だめになる。失敗したらどうしよう 失敗をひきよせる。お母さんみたいになりたくない 自分の母親と同じようにんと子供と接してしまう。(虐待されて育った人が いやーだと嫌うあまり 自分が虐待してしまうのもこの法則が働きます) 嫌うとそこに意識が集中し結局同じことを繰り返してしまいます。心配すると 心配ごとを引き寄せてしまいます。 必要以上に心配しないこと大切です。心配とはまだ起こってもないことを 勝手に悪いほうに想像してしまっていることなのです。嫌うと それを引き付ける (いやなものに意識を集中しているから 引き寄せてしまいます)

➤